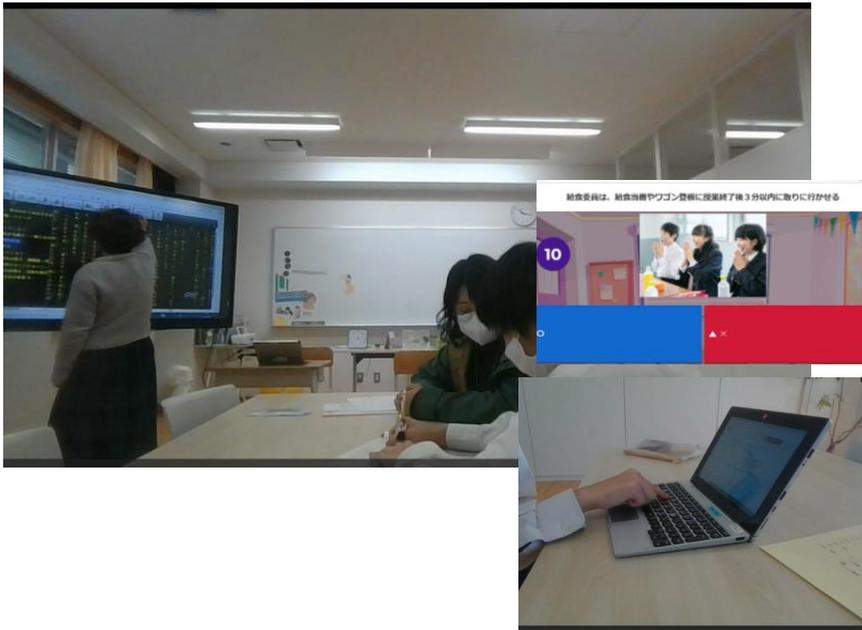


【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

○特別活動（生徒会活動）における取組

生徒会本部役員の活動では、teamsのチャンネルに鍵付きで生徒会本部役員を招待し、企画の発案、原稿や日程の確認など情報の発信と共有を円滑にできるようにした。生徒会新聞の作成や募金活動を行うためのポスター作成では、学習支援ソフトを使用している。作成したものは、校内の掲示だけではなく、teams内での共有もおこない、誰でも容易に閲覧できるようにしている。生徒会新聞に掲載するアンケートや、講演会後の感想では、生徒が作成したFormsを活用し、全校生徒にメンションをして回答を呼びかけ、収集も行っている。生徒総会の議案書作成の際には、各委員会の委員長のみが使用できる鍵付きのチャンネルを活用し、書き込みをteams内でおこなった。生徒総会のための学級討議、総会当日も、資料を全校生徒にPDFで共有した。文化部発表会、生徒会朝礼などの生徒会の企画・運営するものは、毎回オンライン配信を行い、欠席している不登校生徒、外部にも発信している。



○通級指導教室における取組

"Learning Diversity" を基本とし、学びの困難さをエビデンスを基に支援を行うように取組んだ。

指導例：「読み書き」に困難さのある生徒への指導として

- 1： 基礎的な「あいうえお」の読みとオノマトペを使った表現、場面に即した表現をタブレットと共に絵カードなどを併用し語彙の獲得に努めた。
- 2： クイズアプリを活用し、暗黙のルールや学校のルールの確認し、読むことの負担を軽減しながら理解を図った。
- 3： 「表現・表出」方法として「書き」に囚われず、「playgram」を本人なりの方略でタイピングする方法の獲得を行った。
- 4： 「読む」ことに重きを置くのではなく、問題など内容の理解を図ることをねらいとした。そのために「マルチメディアデージー教科書」を活用しながら、聴覚からの理解を図るトレーニングを行った。学年末考査では、読み上げ機能を活用し、課題に取り組めるよう合理的配慮に努めた。